

平成 22 年度 第 1 回 東京ビジネス・リーダーズ・フォーラム 会議要旨

1 日 時：平成 22 年 9 月 6 日（月）午後 1 時 30 分～午後 4 時

2 場 所：都市センターホテル（東京都千代田区平河町 2 - 4 - 1）

3 目 的：

本フォーラムは、東京に進出している外資系金融機関の経営幹部や外国政府大使等に対して、直接大阪のビジネス環境や都市開発の取り組みについてプロモーションを行うとともに、企業・研究機関等の誘致に向けて大阪の長所・短所に対する貴重なご意見をいただき、人的ネットワークを構築することを目的としている。

今回は、株式会社日本政策投資銀行より「バッテリースーパークラスターへの展開～大阪・関西に集積する電池産業の強みについて～」と題して、大阪・関西の電池ポテンシャルと今後の展開について講演いただくとともに、その後、参加者と意見交換を行った。

4 テーマ：大阪・関西圏を支える産業ポテンシャルについて

5 出席者：東京に進出している外資系の銀行や証券会社など 10 名
大阪市長、大阪市政策企画室理事他

6 開催結果

（ 1 ）開会（大阪市政策企画室 海外プロモーション担当課長 坊農曜志男）

（ 2 ）挨拶及びプレゼンテーション
大阪市の今後の展望について
（大阪市長 平松邦夫）

（ 3 ）プレゼンテーション
バッテリースーパークラスターへの展開
～大阪・関西に集積する電池産業の強みについて～
（株式会社日本政策投資銀行 前田正尚 常務執行役員関西支店長
坂田枝実子 企画調査課副調査役）

（ 4 ）主な意見等

技術をシステムとして売り込むには
・技術の継承を図る仕組みを整備する。また、色々な技術をシステムとしてトータルで売り込めれば強みとなる。たとえば、リチウム蓄電池、水ビジネスなど。
誘致について

- ・研究所、工場の誘致も重要であるが、本社機能の誘致は、雇用、住宅需要および消費の拡大に効果がある。

観光について

- ・海外からのお客さんに対して、観光のインフラ、たとえば、わかりやすいサインを整備することが大切である。
- ・海外向けのガイドブックに大阪のことをもっと取り上げてもらうように働きかけることが大切である。

新技術導入時の政策について

- ・デンマークの事例では、新技術の導入にあたっては、市民の出資を活用する一方、出資に対する政府の保証を実施し、誰も損をしないような政策を採用している。
- ・持続可能な社会システムを構築し、維持できるような政策が必要である。

連携について

- ・大阪だけではなく、京都、神戸、奈良と連携して、各都市の特徴を活かした関西圏としての魅力を出せるような取り組みを行う。
- ・また、九州、四国、中国地方等に立地していても、大阪市との関連が深い企業等であれば、助成も考えたらよいのではないか。

外国人の活用について

- ・外国人、特に中国人について、雇用の促進、留学生の交流と活用を図り、ネットワークを拡大していくのが効果的である。

MOT (Management of Technology) の導入について

- ・関西ではMOTを念頭にした取り組みが遅れているように思う。例えば、北ヤードなどで東大阪などの中小企業の工場の方に講師として来てもらい、中国の工場のリーダーになるような人からお金をとって、活きた技術をきちんと教えるようなことをしてはどうか。

(5) 市長 お礼のあいさつ

- ・ 本日はたくさんご意見をいただき、感謝している。
- ・ 現在日本は先行きが不透明だが、アイデンティティを持った関西がしっかりしないといけない。
- ・ 都市が持っている力と民間の力を結集していくため、今、国に特区提案をしている。
- ・ 関西の集積を生かし、関係機関と連携しながら、国の形を地方から作っていくときである。
- ・ また大阪市のことを宣伝してほしいと思う。